

## 根木内城跡と戦国時代をあるく

2026・3・12 9:30～

主催：東部公民館 講師：田村哲三・NPO 流山史跡ガイドの会

### 高城氏の出自は諸説ある

『総武大谷口城主高城氏』

千葉宗胤（南朝方・建武2年三井寺で戦死）一次男・高胤（鹿児島へ）一長男・親胤（原氏・下総白井に住む）次男・胤雅（肥前高城に住み高城氏に→臼井） 懐良親王

『高城家旧記』

胤雅は南朝方として新宮で敗れ、原氏の下総白井に移り住んだ。

『寛政重修諸家譜』

藤原姓二階堂氏の流れをくむ。

『最近の説』

相馬領高城に住み高城氏を名乗った。

### 高城氏の小金周辺への進出

風早（東氏）、戸張（戸張氏）、矢木（矢木氏）は千葉一族の支配下

#### 本土寺過去帳 高城氏に関する記録

文明2年（1470）高城氏が本土寺で法会

文明8年（1476）馬橋の高城孫六の名

文明15年（1483）高城安芸入道の名

延徳2年（1490）クリガサワ高城新右衛門の名

栗ヶ沢城築城 寛正3年（1462）高城胤忠（胤充説） 永正3年（1506）の説あり

根木内城築城 永正5年（1508）高城胤吉

### 享徳の乱 流山周辺の戦い

享徳3年（1454）鎌倉公方足利成氏が関東管領上杉憲忠を暗殺 以後30年、2大勢力が戦う

享徳4年 千葉本宗家（上杉方）×庶家・馬加千葉氏+本宗家家臣原氏（古河公方方） 庶家の勝利

### 以後も本宗家方と庶家方が各地で戦う 以下本土寺過去帳から

長禄2年（1458）「杳掛長門守ヤギの城で打たれる」

\* 寛正3年（1463）栗ヶ沢城築城

寛正7年（1466）「境根の塩売彦次郎がヤギ船津打たれる」

文正2年（1467）「深井の次郎太郎が野田にて打たれる」

\* 文明2年（1470）高城氏本土寺で法会

\* 文明8年（1476）馬橋の高城孫六

明文10年（1478）11月3日「前ヶ崎城落城太田六郎殿、戸張彦次郎殿打死」

同 11月10日「境根原で千葉孝胤×太田道灌」道灌の勝利

文明11年（1479）1月 道灌は孝胤を臼井まで追うも勝てず馬橋に守備隊を残し引き上げる。

\*永正5年（1508）根木内城築城

以上のような戦いの中、高城氏は栗ヶ沢城、根木内城を築いたものと考えられる。

#### 小弓公方と高城氏の戦い

明文14年（1482）将軍義政と古河公方成氏が和睦、享徳の乱終焉。その後、道灌暗殺、上杉家の本家と分家の戦いを経て古河公方家の内乱へ。古河公方（高基）×弟・義明 義明小弓公方を名乗る。

永正14年（1517・永正15年説あり）足利義明軍が原氏の小弓城に入る。義明軍が攻めた説やその前に武田氏らが攻め落としていた説もある。原氏、高城氏敗退。

#### 本土寺過去地用から

永正14年4月 高城治部少輔が番匠免で打死。同閏10月 畔蒜右京亮、戸部三郎左衛門馬橋で打死 月不明 高城民部少輔が深井にて打死、同家風50余人、石井弥七郎若衆也

永正18年（1521）畔蒜彦五郎、田嶋図書助、鈴木太郎右衛門ら名都借で打死。

同年6月 根木内城に迫る小弓軍を行人台で撃退、多数戦死。

大永7年（1527） 鮎川水軍名都借城を攻撃

享禄2年（1529） 鮎川水軍名都借城を攻撃

享禄3年（1530） 高城胤吉小金城築城開始

天文6年（1537） 小金城完成

天文7年（1538） 第1次国府台合戦、高城氏は（北条+古河軍）方 足利義明討死。

#### 上杉謙信の関東進攻

永禄3年（1560） 上杉謙信関東進攻 小金城高城氏は上杉方に。

永禄7年（1564） 上杉謙信関東進攻 小金城攻撃を守り切る。以後関宿城梁田氏と敵対。

#### 豊臣秀吉の小田原攻め

天正18年（1590） 豊臣秀吉が小田原城を攻める。小金城、浅井長政に囲まれ開城。根木内城も同時開城。